

NPO 法人日本空手松涛連盟静岡県本部

静岡松涛タイムス 第65号

発行元：静岡県本部広報部 責任者：置塩大三郎

連絡先：0547-35-4537(TEL&FAX)

E-mail：takkukan@lemon.plala.or.jp

県本部 HP：http://www.shizuoka-karate.com/

広報部 HP：http://plaza.across.or.jp/~cyber-ex/

第14回全国大会・第3回世界大会

去る7月27日28日国立代々木競技場第二体育館に於いて、第三回松涛連盟世界空手道選手権大会、第三回世界車椅子空手道選手権大会並びに第十四回松涛連盟全国空手道選手権大会が盛大に開催されました。今回の世界大会には海外32ヶ国から大勢の選手が参加しました。国際大会という事もあり、会場では海外の方ならではの応援や、陽気な振る舞いが試合前から随所に見受けられました。しかし、そんな陽気な選手達も開始線に立つと表情が一転、型では力強さが、組手ではステップを使い遠い間合いから一気に飛び込んでくるスピードに大変驚きました。今回の大会でもう一つ印象に残った事があります。それは、全国大会にて2位以内に入り翌日の世界大会に出場した中学生、高校生の選手達です。「JAPAN」のエンブレムを胸にコートに立つ姿、表情は日本代表の誇りに満ちていて、大変凛々しく印象に残りました。大会を終え試合会場からの帰路、選手や父兄の方達は様々な事を思ったのではないのでしょうか。私自身も、大会に出場した選手達に、もう少し違うアドバイスの仕方があったのではないかと、課題が残りました。そして大会での成績は日々の稽古の成果だという事をあらためて思い知らされた大会でもありました。今回の大会での反省点を踏まえ、これからまた、生徒と共に稽古に励みたいと思います。来年の全国大会、日々の稽古をやり抜いた静岡県代表選手達の活躍が今から楽しみです。(レポート：掛川将陽館 鈴木 伸一)



菊川南陵高校夏季合同合宿



平成25年8月10日～11日に恒例の夏合宿が開催されました。今回は県内のJKS会員と南陵高校空手道部の130名と過去最多参加者にて賑やかに行われました。初日12:00に高校体育館に集合し基本、型、組手の稽古を学

年別や級・段別に別れ稽古でした。保護者の皆様手作りのカレーを食べ、夜の講座にはJKS会員である南陵高校野球部が甲子園大会静岡県予選での準優勝報告を参加したメンバーにしてくれました。「目標を持ち努力すれば出来る」と語った野球部の皆さんから「力」を頂いた気がしました。子供達は真剣に話を聞いていました。是非、この気持ちを空手道に活かして頂きたいと思っております。翌11日は朝から試合形式を中心に12:30に昼食を摂り解散致しました。2日間共に大変暑い日でした。今回は菊川南陵高校空手道部監督である岡本奈菜先生(本年度61kg級女子組手日本代表)が中心に指導して頂きました。合宿の目的は「全員が友達になる」です。参加した皆さん！今年もたくさんの友達が出来たのではないのでしょうか？



祝準優勝 菊川南陵高等学校野球部

7月に行われた「第95回全国高校野球静岡県大会」において、菊川南陵高等学校野球部(菊池伸幸理事長：将陽館)が堂々の準優勝を収めた。菊川南陵高校は静岡県松涛連盟の支部のひとつで、在学生全員が松涛連盟の会員という、たいへんユニークな学校として知られている。今回、菊池理事長の新体制となって、わずか3年目という短い期間での快挙に、学校方針や様々な部活動の指導体制等、各方面から注目を集めている。礼儀正しく清々しいメンバーが集う菊川南陵高校の活躍が、今後も大いに期待されるところである。



平成 25 年度 9 月期昇段審査会

平成 25 年 9 月 1 日実施 於 静岡市北部体育館

少年部初段	遠藤 寛(清水)	高橋 笑花(律誠館)	吉添 結衣(尚志館)	穴戸 天翔(高洲)
青島 裕汰(麻機)	三宅 奏瑠(青島)	野中 彩智(静岡南)	杉井 透弥(青島)	松村 正道(焼将陽)
一般部初段	岡村 哲子(誠空館)	宮島 絵満(島田)	片岡明日香(焼将陽)	野中 弘一(焼将陽)
一般部貳段	渡辺 文也(島田)	受審者総数 26 名 合格者 14 名		

第五回龍勢空手道大会

平成 25 年 10 月 6 日(日)に岡部支部主催、第 5 回龍勢大会が岡部町いきいき交流センターにて、大井川支部、島田支部、西焼津支部、藤枝青島支部、藤枝瀬戸谷支部、藤枝高洲支部、焼津将陽館支部、焼津支部、岡部支部、以上 9 支部の参加にて盛大に開催されました。この大会の目的は、参加選手の技術向上はもちろんの事、大会運営の勉強、若手指導者の審判技術の向上をはじめ、試合経験の少ない選手でも気楽に出場できる大会にしたいという気持ちから始まりました。今大会の試合を見ての私の感想は、選手の技術レベルがかなり向上してきたと思えました。型・組手共に、大きな大会でも常に上位に入賞する選手が大勢出場していることに驚くと共に、経験の浅い選手には、良い刺激になったと思います。また、出場各支部長が選ぶ「支部長賞」が設けられ大会を更に盛り上げました。勝って笑い負けて泣き、選手・審判が一体となった爽やかな大会にしたいというのが、私の思いでありましたが、色々反省点も有り、来年の大会に生かしたいと思えます。簡単ではございますが、誌面での報告に変えさせていただきました。最後になりましたが、この場を借りて、大会当日お世話になりました各道場の先生方及び、コート係や運営をサポートをしてくださった大勢のご父兄の方々に御礼を申し上げます。(レポート：岡部支部琉芳会 増田 公一)



編集後記 華々しいスタートを切った平成 25 年も、余すところ一ヶ月と少しくなっておりまして。本年の松涛タイムスの発刊は本号にて最終となります。今年も各種大会や県内各支部のイベントや活動の取材に参加させていただきました。指導の先生方をはじめ、関係各位様にはたいへんお世話になりました。また、多大なご協力を賜りました事をこの場をお借りしまして心より感謝すると共にお礼申し上げます。ありがとうございました (広報部)